

氏名

座席番号

I

[2]	①	③	④
[3]	①	②	④
[5]	①	③	④
[8]	①	③	④
[9]	①	②	④
[11]	①	②	④

II

[8]	イ	①	②	④	⑤	⑦
[11]	①	③	④	⑤		

III

[2]	①	②	③	④	⑥		
[3]	①	②	③	④	⑤		
[6]	イ	①	③	④	⑤	⑦	⑧

IV

[2]	①	②	③	④			
[3]	①	③	④				
[6]	①	②	③	⑤			
[8]	①	②	④				
[11]	①	②	③	④	⑤	⑥	⑧

2月2日 生物

(注意事項)

- ・示した解答はあくまで一例であり、解答例以外も正答とすることがあります。
- ・公開している文書・画像等のコピー・転載は禁止します。

I

[1]	あ	アミラーゼ	い	基質特異性		
	う	最適温度	え	最適pH		
[4]	加熱で変化した酵素の立体構造が元に戻らないから。					
[6]	6番目	7番目	8番目	9番目	10番目	11番目
	Arg	Ala	Leu	Tyr	Lys	Ser
[7]	相補性					
[10]	半保存的複製					
[12]	水素結合の数が多い					

採点欄

1	0	1	2	3	4
4	0	1	2	3	
6	0	1	2	3	
7	0	1			
10	0	1			
12	0	1	2	3	

III

[1]	卵割	
[4]	37.5 %	
[5]	HH 15 %	Hh 50 % hh 35 %
[6]	え	転写調節
	ア	クロマチン構造がほどけている
	ア	(ガイド)RNA
[7]	け	切断されなかったため修復ミスが起こらない
	イ	クロマチンが折りたたまれた構造になった

採点欄

1	0	1	2
4	0	1	2
5	0	1	2
6	0	1	2
7	0	1	2

II

[1]	あ	転写	い	スプライシング	
	う	翻訳			
[2]	核		[3]	5520	種類
[4]	抗体の多様性により、様々な病原体を排除できるため。				
[6]	強く速い				
[7]	変異により抗体が結合できないから。				
[8]	ア	自然免疫			
[9]	アレルゲン		[10]	IgE	

IV

[1]	キャップをかぶせることの物理刺激は屈曲に影響がない				[4]					
[5]	図の左側を通過して下に移動し、左側の成長を促進する									
[7]	ファイトロピン		[9]	重力屈性						
[10]	下側の成長が抑制									
[12]	原形質分離		[13]	セルロース						
[14]	た	名称	ジベリン	番号	⑥	ち	名称	エチレン	番号	①

採点欄

1	0	1	2	3
2	0	1		
3	0	1	2	
4	0	1	2	3
5	0	1	2	
6	0	1	2	
7	0	1	2	3
8	ア	0	1	2
9	0	1		
10	0	1	2	
12	0	1		
13	0	1		
14	た	0	1	2
	ち	0	1	2